

こども相談室

こどもの 急性腎盂腎炎について



千葉県小児科医会 吉田 未識 医師

こども急病電話相談

受診するべきかどうか迷ったら

#8000

毎日夜7:00~翌朝6:00

※相談は無料ですが、通話料はご負担いただきます。

ダイヤル回線・IP電話・光電話・銚子市からは

☎043 (242) 9939

Q1 腎盂腎炎ってどんな病気？

腎臓で作られた尿は尿管を通過して膀胱に溜まり、体外に排泄されます。この経路を尿路といいます。病原体(大腸菌など外陰部にいる細菌が原因となることが多いです)が尿路に侵入して炎症を起こすのが尿路感染症です。炎症が膀胱より下部にとどまれば「下部」尿路感染症、尿管や腎臓に及ぶと「上部」尿路感染症といいます。腎盂腎炎(腎盂炎ともいいます)は上部尿路感染症の一種です。

Q2 どんな症状を起こすの？

下部尿路感染症では排尿時痛や頻尿、血尿などの症状が主で、通常発熱は伴いませんが、腎盂腎炎になると脇腹や背中への痛みに加えて、高熱を出すことが多いです。また、吐き気や嘔吐・下痢などの症状が出ることもあります。

さらに、敗血症(細菌が血液中に入って全身に回ってしまう)を伴うこともあり、その場合はぐったりして顔色不良や多呼吸が見られるはず。話すことができない小さいお子さんでは、発熱、不機嫌や哺乳不良などの症状のみで、尿検査をしてみればじめて診断がつくこともあります。

Q3 どんな検査をするの？ 治療は？

咳や鼻水、嘔吐、下痢、のどが赤いなどの症状がないのに高熱がある場合、腎盂腎炎を疑って尿検査をします。尿中に白血球や細菌が多く見られたら、腎盂腎炎の診断になります。

治療は、抗菌薬の投与です。気をつけなければならないのは、診断を確定するための検査は、抗菌薬を使う前の尿を用いなければならない点です。既に抗菌剤を投与してしまうと、原因菌が隠されてしまうことがあり、正確な診断ができなくなってしまいます。不適切な治療は腎瘢痕と言われる後遺症につながるため、「正しいタイミング」と「正しい期間」の抗菌薬投与が大切です。

Q4 予防法はあるの？

小さいお子さんであればオムツをこまめに変える、大きいお子さんであれば排尿を我慢しないことが基本です。感染を繰り返す場合は、抗菌薬の予防内服を行うこともあります。かかりつけの医療機関で相談してください。